

閉会挨拶

林 春男（京都大学防災研究所 特任教授）

せっかく河田先生が締めてくれたので、それでいいのではないかという気もします。17年続けてきた比較防災学は、これで幕ということにさせていただきたいと思います。国難と都市災害は共に最終年度で、残り3カ月、それぞれ最終成果を出さなければならないことになっていますので、関係者の方にはもうひと踏ん張りしていただきたいと思います。

先ほどから河田さんが強調している部分ですが、この2つのプロジェクトは終わりでも研究が絶えるわけでは決してないので、次のフェーズに向かってぜひ皆さん、今後とも精進・努力をしていただければと思います。最後までお残りいただいた皆さまには厚く御礼を申し上げて、17年間の幕を引かせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

